

沼田市3月議会情報

適正な保護をしていくと答弁



井之川博幸市議

井之川博幸議員は予算質疑の中で、小田原市で職員が「生活保護なめんな」「不正受給者はくず」などとしたジャンパーを着て、生活保護行政にあたっていたとして、大きな社会問題になっていることを示し、本市ではそれらの問題を受けての対応について質しました。

社会福祉課長は、「対応については、適切に行っている」と答えました。

つづいて、生活保護については、99.5%以上は適正に執行されており、ごくまれに起きていることをあたかも多く存在するかのように宣伝し、生活保護受給者が悪者のように誤解を招く行為であって、人権問題にも抵触するといわれている。職員に対して憲法25条の内容を、改めてこの機会に研修などを行なうことが必要ではないかと、質しました。

社会福祉課長は、「それらの認識については、共有している」と答えました。

さらに井之川議員は、保護費については、国は削減する方向を押し付けてきているが、市の対応について質しました。

社会福祉課長は、「市としては、適正な保護をしていく」と答えました。

公共交通－住民とともに考えること必要

井之川博幸議員は予算質疑の中で、高齢者の足を守っていく問題として、高齢化社会における「公共交通」については、行政の中で考えるだけでなく、住民とともに考えることが必要であり、そのような組織をつくる必要があるのではと、要求しました。

井之川議員は、かねてから一般質問などで、空のバスを走らせるよりも、予約制で「デマンドタクシー」などの方式を取り入れるよう要求しています。



重税反対で市内をデモ行進

3・13重税反対全国統一行動



十王公園を出発するデモ隊

安倍政権の重税に苦しめられている全国の中小業者・農業者などが、重税に反対し各地の税務署に「集団申告」を行なう、3・13重税反対利根沼田統一行動(主催：重税反対利根沼田実行委員会)が、3月13日、沼田市内の十王公園で集会を実施後、沼田税務署にデモ行進で向かい集団申告を行ないました。

今回の確定申告では、税務署側が、申告書に「マイナンバー」を記入してなくても申告書を受け取るという姿勢を示しました。

学童保育の運営補助基準額引き上げへ

学童保育所(クラブ)への運営補助基準額を新年度、国が学童一人当たり約14,000円引き上げます。

また、放課後児童支援員への処遇改善を市が予算化しています。その他、国は、認定資格研修を受講した支援員には年額12万4,000円、より専門性の高い研修を受講した勤続5年以上の支援員には年額24万8,000円、10年以上は年額37万2,000円の処遇改善を新年度から実施する方向を打ち出しています。



利根中央病院に病児保育の専用施設を設置

市は、新年度から利根中央病院に、病児保育の専用施設を設置する事業に補助金を支出します。

2017年4月1日 No.830

いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町 983 ☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版部内資料